

# 単元構想図

【逆向き設計】単元構想図（全3時間）

第2学年 『傷害の防止』

本単元で育成すべき資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
<p>自然災害による傷害は、例えば、地震が発生した場合に家屋の倒壊などによる危険が原因となって生じることや、地震に伴って発生する津波などの二次災害によっても生じることが理解している。</p>	<p>傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。</p>	<p>傷害の防止について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

【単元のねらい】傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

【目標】

- ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因、交通事故などによる傷害の防止、自然災害による傷害の防止、応急手当の意義と実際について、理解することができるようにするとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けることができるようにする。
- ・傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- ・傷害の防止について、課題の解決にむけての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする

単元のまとめ

これまで学習した内容を踏まえて、自然災害による傷害の防止について振り返りシートに記入する。

自然災害による傷害を防止するためには、目頃からの備えや、周囲の状況を的確に判断する必要があることがわかった。知

災害が起きた場所に応じて行動や備えの違いについて気づき伝えることができた。思

災害がおきた時に備えができていかどうかで結果が大きく異なると知った。災害後のボランティア活動に参加してみたい。学

第3時 ともに生きる

災害後に自分にできることを考えることができる。知, 思

第2時 自然災害による傷害の防止【本時】

南海トラフ大地震が発生したことを想定して、場所に応じた適切な避難方法を考えることができる。知, 思

第1時 自然災害による危険

災害が発生した時におこりうる被害について理解することができる。知, 学

【単元の入り口】生徒の姿

災害後の生活において何か役に立ちたいと思っている生徒は多いが、具体的にイメージを持っている生徒は約半数。（防災アンケートより）

単元の学習課題

自然災害による傷害の防止には何が必要なのかまとめよう。